

王都陥落

第6章

動く牢獄

78禁

はゆ (Hatano Yuki)





川辺で輪

ラミッドへ移動中

ラミッドへ移動中



ラミッドへ移動中

バルダン国

ラミッド王国

ランターナ帝国

メルシア王国

メルシア襲撃 (バルダン国)

王都陥落 (メルシア王国)

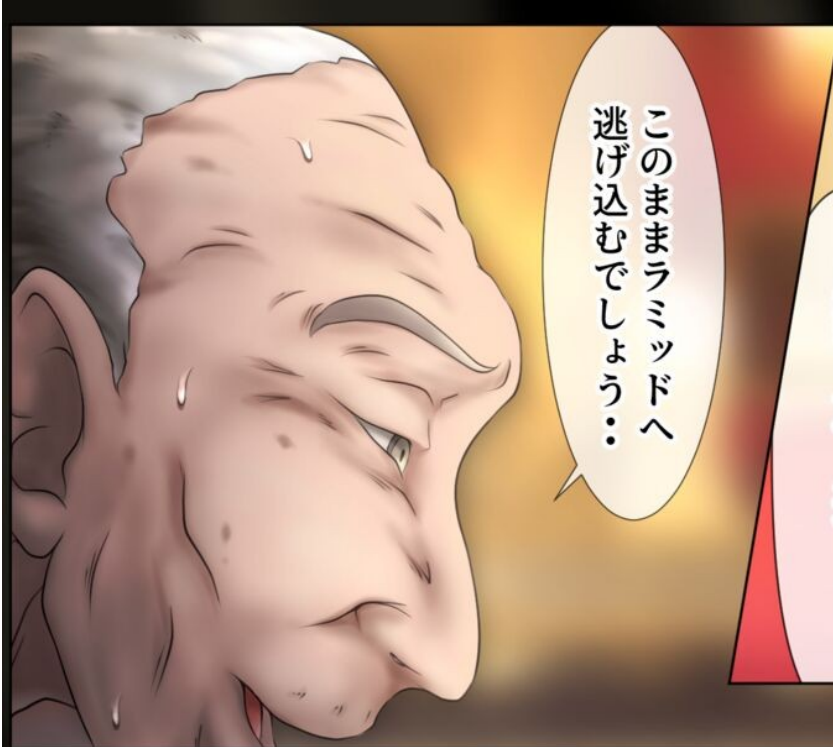


The background features a dark, atmospheric scene of a castle at night. The castle's towers and battlements are silhouetted against a dark sky. Numerous bright, glowing sparks or embers are falling from the top, creating a sense of fire or destruction. The overall mood is dramatic and somber.

王都陷落

メルシニア王都

王宮



このままラミッドへ
逃げ込むでしょう！



何？

王妃を取り逃した？



ラミッドは
王がすぐに陥落させる

まあ良いわ！

めんどくせえ

チツ！

カチヤ！

バルダン王の本軍が
そろそろここに到着しますよ

我らもラミッドへ行きましょう

よしっ 今夜こそは
エアルザ王妃の乳房を吸いながら……

こいつもやる……
あーおんぱの

ベッドの2人は牢へ運べ

今夜は流石に無理でしょう

もう昼前ですよ……



ラミツド 国境付近

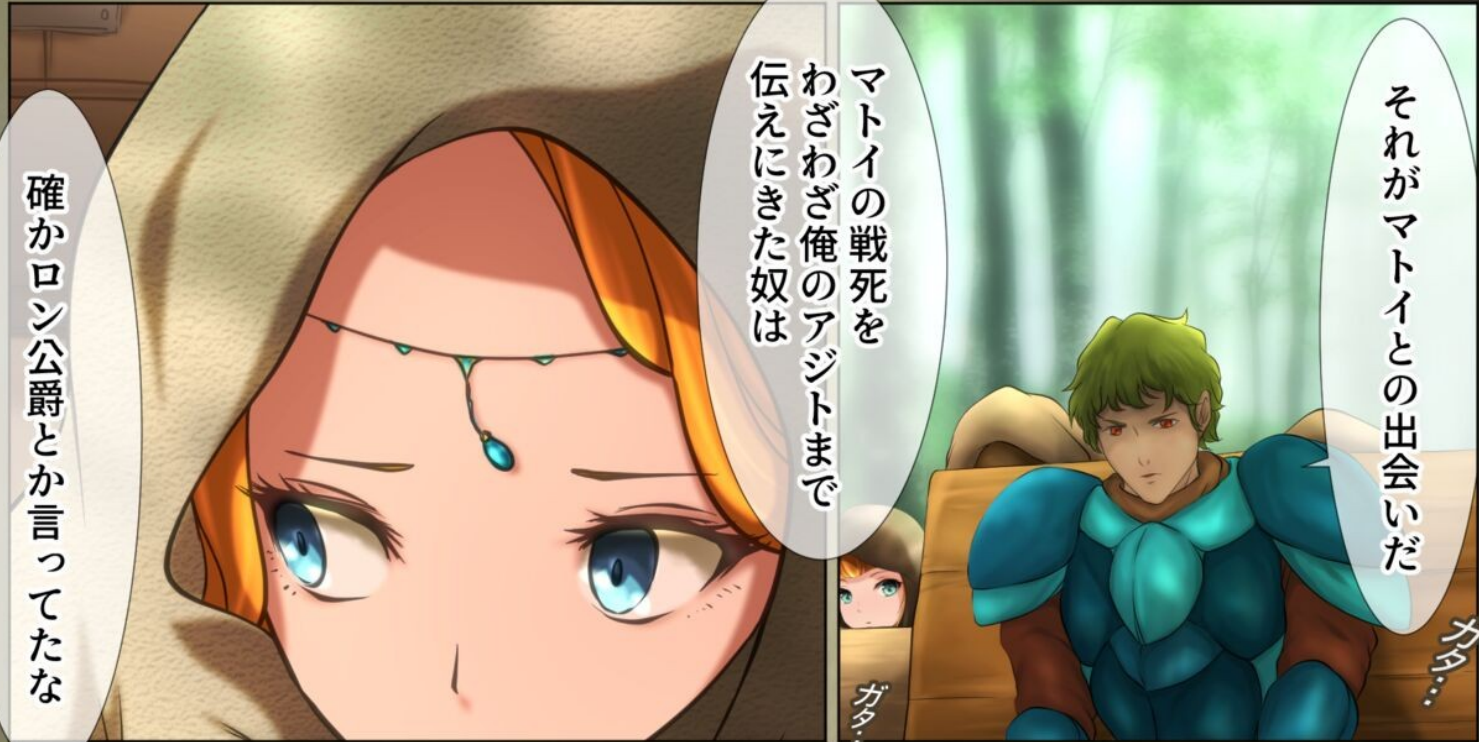
昔、盗みに失敗して
メルシア兵士に捕まった



それがマトイとの出会いだ

マトイの戦死を
わざわざ俺のアジトまで
伝えにきた奴は

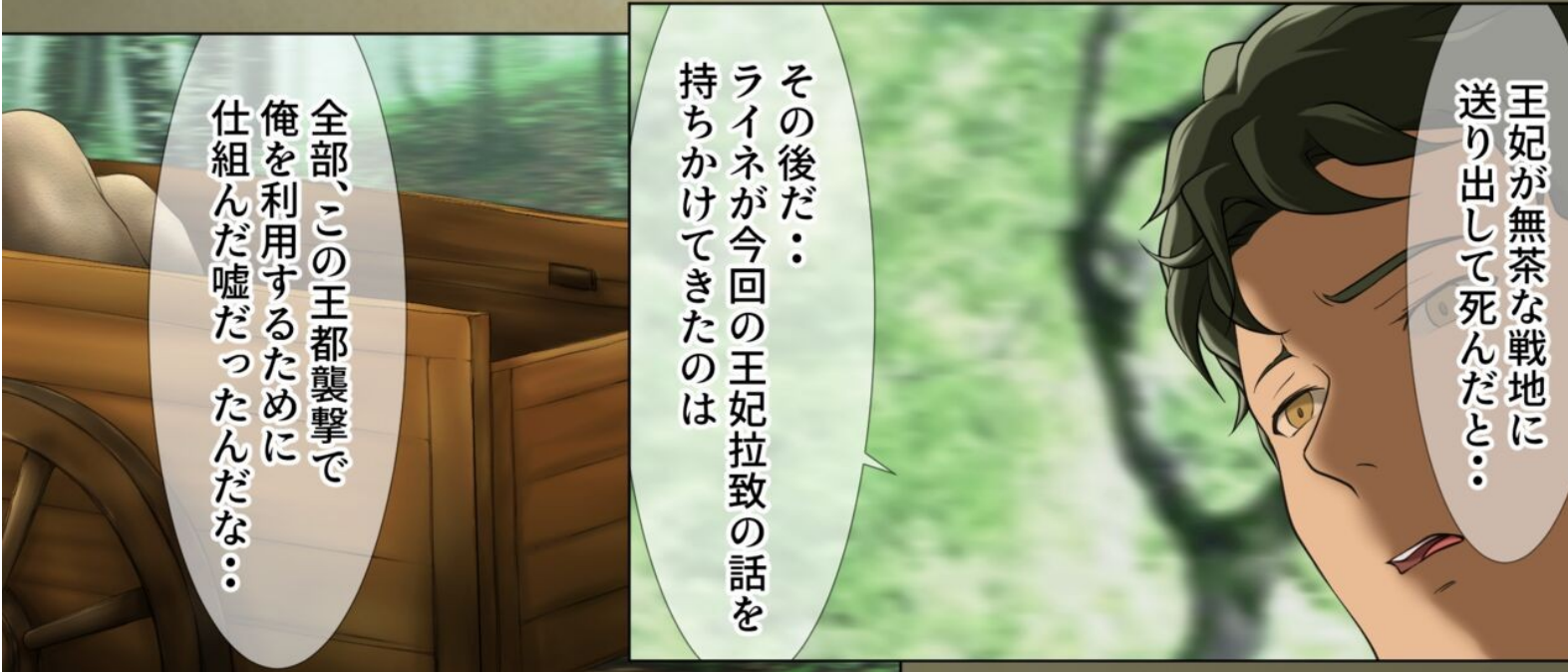
確かロン公爵とか言ってたな



王妃が無茶な戦地に
送り出して死んだと...

その後だ：
ライネが今回の王妃拉致の話を
持ちかけてきたのは

全部、この王都襲撃で
俺を利用するため
仕組んだ嘘だったんだな...





一番強く、
たくましいですから

彼女はメルシアで



ガタ...

ラミッドでまた

ガタ...

きっと会えますよ...



とりあえずは一安心だ

よし、国境を越えたぞ



ああ...



あ...はい
...お母様...



エレナ、もう少しよ

...大丈夫？ 怪我はない？

カタン...

こんなに出して……

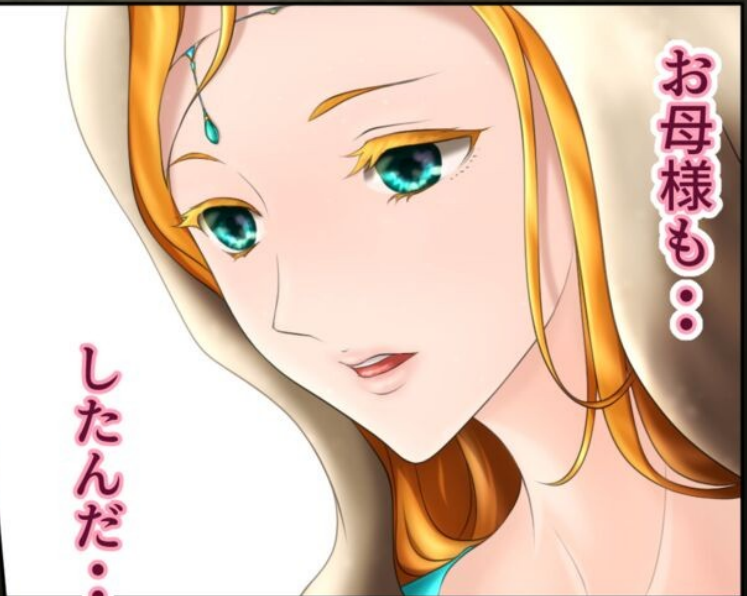


出来ちゃうじゃない



赤ちゃん……

お母様も……



したんだ……

……あんなこと……



メルシア領内

川辺



殺さないで...

プはッ

ぐゅん

ぐゅん



死にたくな...ウプッ

それはお前らの態度次第だ

ぐゅん

ぐゅん



サラ。。



一番人気の頑張りが
特に大事だよなあ。。



カミラ。。



舐める。。



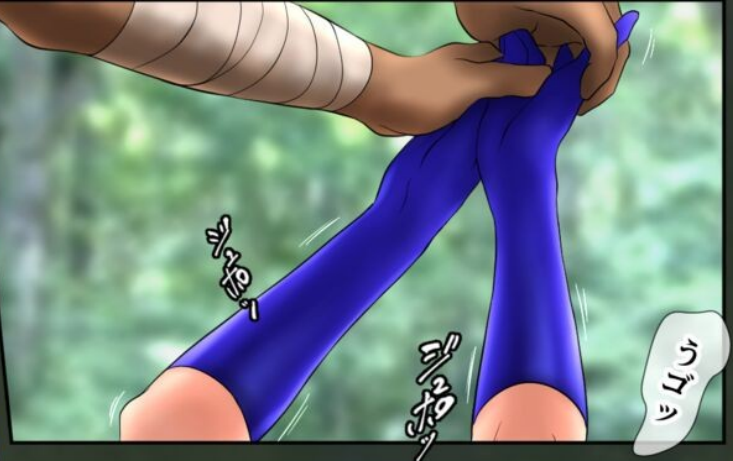
ユク。。

。。コレを



この巨乳で挟め

いっや



いっや

いっや

いっや



いっや

いっや



いっや

いっや

え...

いっや

おおお 気持ちいい...



次はお待ちかねの…

オレにまたがれ

待つ…



あッー!

ドッ
ドッ
ドッ

ドッ
ドッ
ドッ



男知らずとは

この巨乳で



わたし…

シタことが…

おおッ…



アッ!



ツイてる...



うう...

アッ!



なっ!

アッ!

アッ!

ああッ!

ホレッ



ああっ!

処女なんだから楽しませろよ



なんだ

まだやってんのか



アッ!

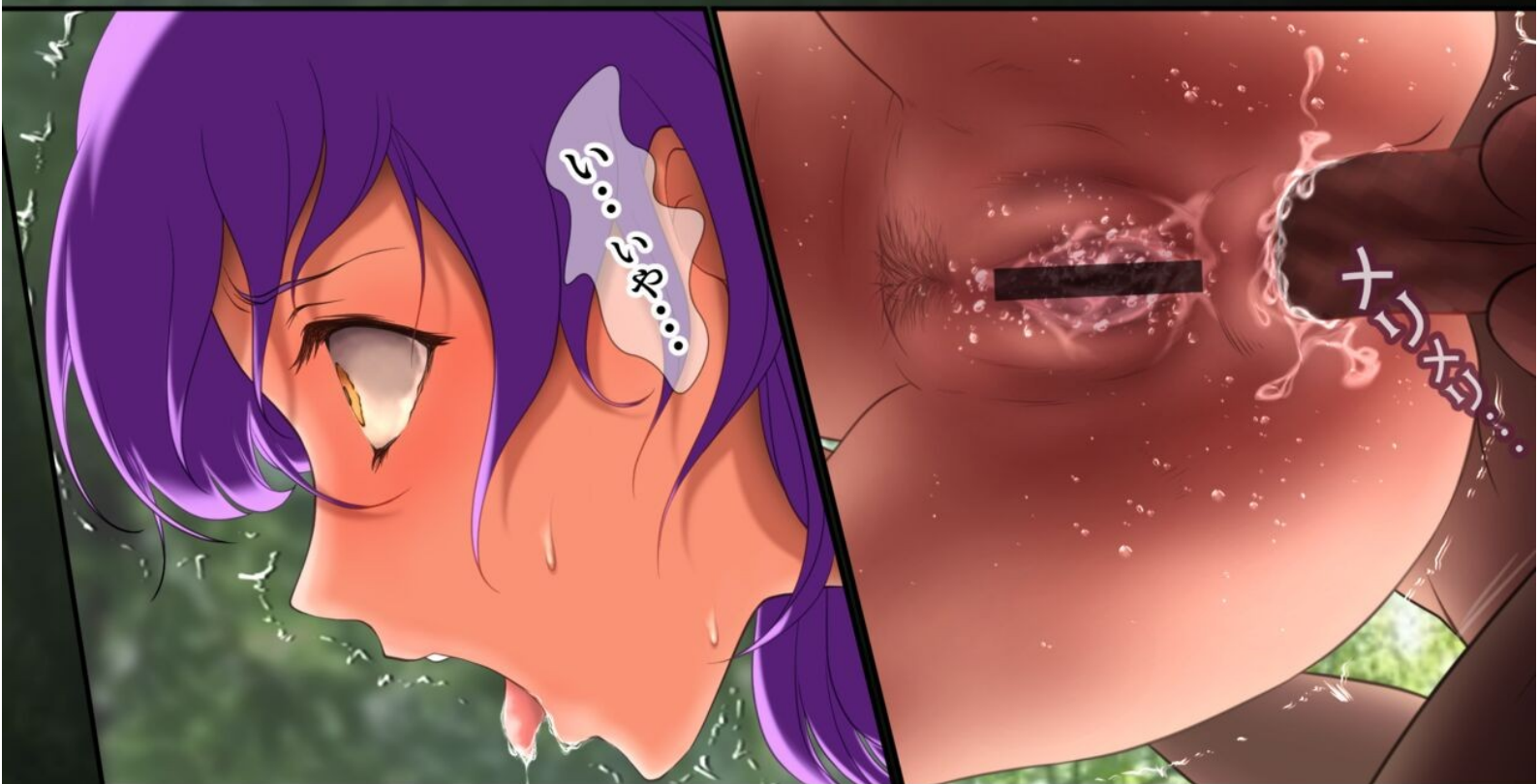
アッ!



しよーがねーなー



ウプッ





漏らすほどイイか

お...ドリ...お...
が...
あ...

こっからが本番だぞ
アガッ!

抜けたじゃねーか

おっ

ヒッ!!

抜いてる

おっ

おっ

おっ

おっ

ああああああああ!!

おっ
おっ
おっ
おっ
おっ



ラミツド領内



ガタガタ。。。



!

ガタガタ。。。

おい 止まれ



なぜ荷台で
女子供だけを運ぶ？

お前達、どこへ行く？

メルシア

待って下さい

全員降りて…

この辺りの人間ではないな？

あなたは!? まさか…

?

ラミッド王国に
助けを求めたいのです

昨夜… バルダン国の軍に
王都が襲撃されました

メルシア王国 王妃エアルザです



え…

そんな…

!?! な…



うん

ラタン、先に戻って
王に伝えてくれ。緊急事態だ

ドカッ

護衛が

いない…



お久しぶりです

ラミッド王国 護衛長
ベルアドが城までご案内します

ローズ護衛長殿は…
一体何があったんだ…

メルシア領

王都周辺



。。。はっ。。。

。。。なんだ。。。は。。。

牢。。。

王都にこんな牢はない。。。

？ 何故鎧を着ている。。。



く。。。私としたことが。。。

あまりの事に
我を失っていたのか。。。

マリル。。。マリルは。。。
あなた。。。

見たことあるわ。。。

確か。。。

隣にも。。。
まだ目が慣れな。。。

！



まさか……

エアルザ王妃の護衛の子でしょ……

エアルザも……いるの？



ランターナ帝国……

ユリアナ王妃っ

なんというお姿……

ああ……後ろの……

彼女を
起こしちやっみたい……





大丈夫。。

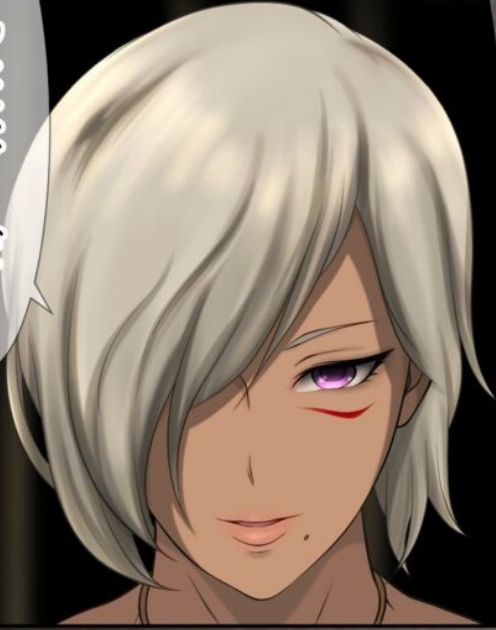
目を閉じていただけだ。。

大きくなったわね。。

私達は妊娠期間が短い。。



あんたはどうだ。。



毎日あれだけ流し込まれたら。。

。。この歳で妊婦になるなんてねえ



アマゾネスまで。。





うんざり...

もう...今日は無理です...



出発だ!...

おんげの聲...

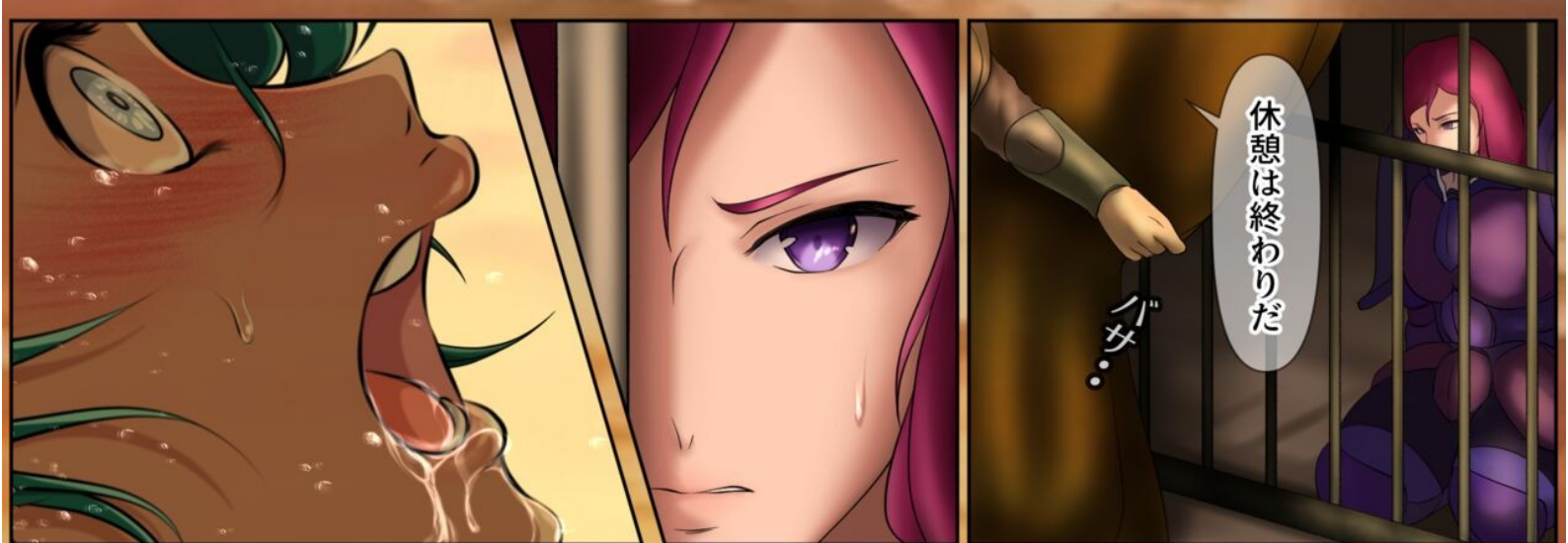
なんだ...

おんげおんげ...

なんだこじは...

助けて...

ガラガラ...



休憩は終わりだ

バサ...



やみつきになるわ
このデカイ身体は

アマゾネスと
ヤレルなんて

もう許して...

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ



また彼女がお目当て？

ああ…あなたね…
さっきも来たじゃない…



ドス…

!



ガキヤ…

少しは休ませてあげないと…

あなたのは大きすぎるから…

ドス…

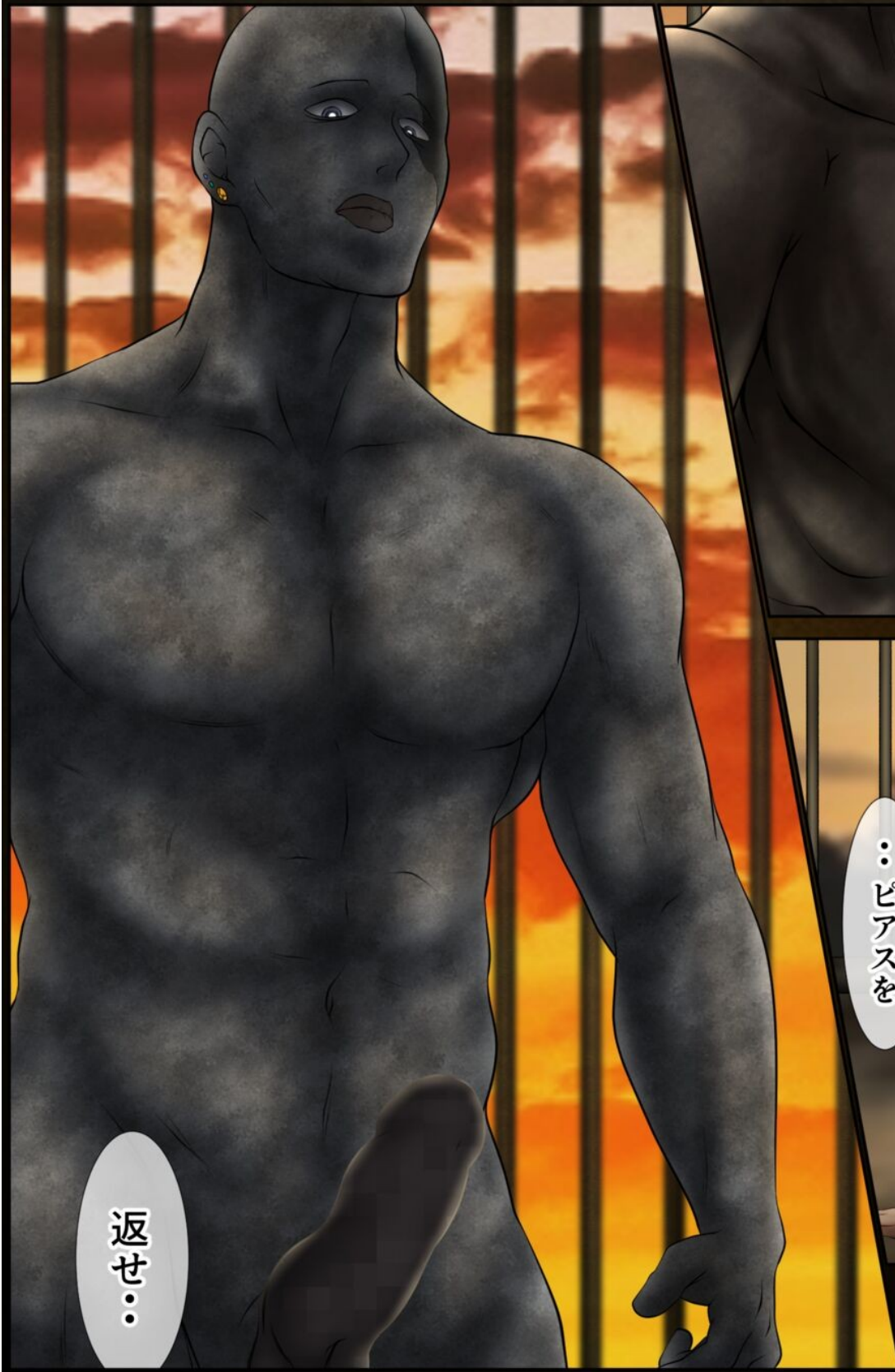


ヒトなのか。。

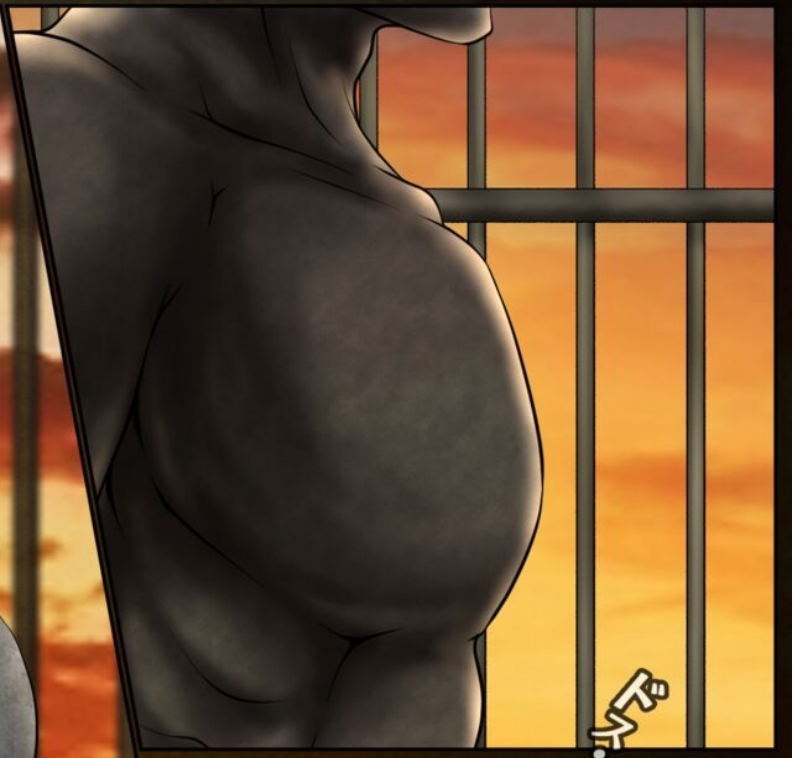
な。。こいつは何だ。。



ドス。。



返せ。。



ドス。。



私の。。

：ピアスを



来るな...



ア...

ア...

ア...



ア...



あ

嫌あッ

ククククク





彼女は毎回…



でも
記憶が無い間に



失神させられるの…



済ませてくれた方が



彼女も幸せだわきつと。。

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

この辺り一帯のアマゾンネスの中でも

屈強で有名な村の族長だったんだけどね：

聞いたか？
メルシアの王妃を
取り逃したらしいぞ

もうラミッド国境を
越えてるみたいだ

よしっ…

カミラ達、よくやったぞ

これで王妃様をひとまずは…

あれ？…なんで
こいつに鎧着せたんだ？

…
こいつは違うぞ

そうなのか？

ロン公爵の
お気に入りだからな

必要なメルシア兵士なら3人、
もうラミッドへ出発してる

全員人形みたいな顔しててよ

なんだと？…

読んで頂きありがとうございます！

ご意見・ご要望あれば 頂けると嬉しいです

コメントたくさん頂いておりとても感謝しております

描くの疲れている時届いていると、本当に嬉しいです

今回は目まぐるしく場所と人物が変わり、分かりにくかったでしょうか？
まだなかなか上手く描けず申し訳ありません。

次の第7章では、「動く牢獄」から脱出を図るローズ護衛長がメインです
第1章を描き始めた時の構想からかなりストーリーを見直しましたが
皆様のアドバイスののおかげで実力以上の作品になってきたと思います

ほぼ登場人物も出揃い、

5.5のエンディング王国での最後のシナリオが始まります

これからお楽しみください！

